

Q&A

Q1.所属する研究科の大学院とMIP、 それぞれの修了要件の関係を教えてください。

各研究科の大学院は、従来どおり各研究科の規定に基づき学位論文を作成することで修了できます。MIPは5年間(あるいは4年間)で、必須となる事項(Q2参照)を修了し、所定の科目の単位を取得することで修了できます。

Q2.MIPに参加すると、どのようなことができますか？

MIPは5年一貫を基本としていますが、MIPに参加することができるタイミングは、①修士課程1年次、②博士後期課程1年次及び③4年制博士課程(1年次・2年次)です。

MIPの1～2年目は、コア医学教育コースを学びながら博士後期課程を完遂できる実力を養成します。MIPの3～5年目は、リサーチワークが中心となり、所属研究科の教員の指導のもと異分野共同研究の立案、若しくは国内外のインターンシップのどちらかを遂行してもらいます。これらに係る経費の一部はMIPが負担します。

Q3.MIP履修生への経済支援はありますか？

MIPに選抜された博士後期課程・4年制博士課程の学生に対して、「RA経費」を支給する制度を設けています(月額12万円程度)が、支給にあたっては条件が設定されています。また、修士課程の学生には、「TA経費」として支援します(月額5万円程度、条件設定あり)。

※支援内容が変更されることもあります。適宜HPをご確認ください。

Q4.修了後のキャリアサポートはありますか？

MIPは企業で求められる博士人材の育成も目的としていますので、希望者には企業見学会、企業説明会、インターンシップ等を用意します。

お問い合わせ

京都大学医学研究科

教務課教育推進室(メディカルイノベーション大学院プログラム担当)

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内 先端科学研究棟3階302室

[TEL] 075-753-9334 [Email] takuetsu-med@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

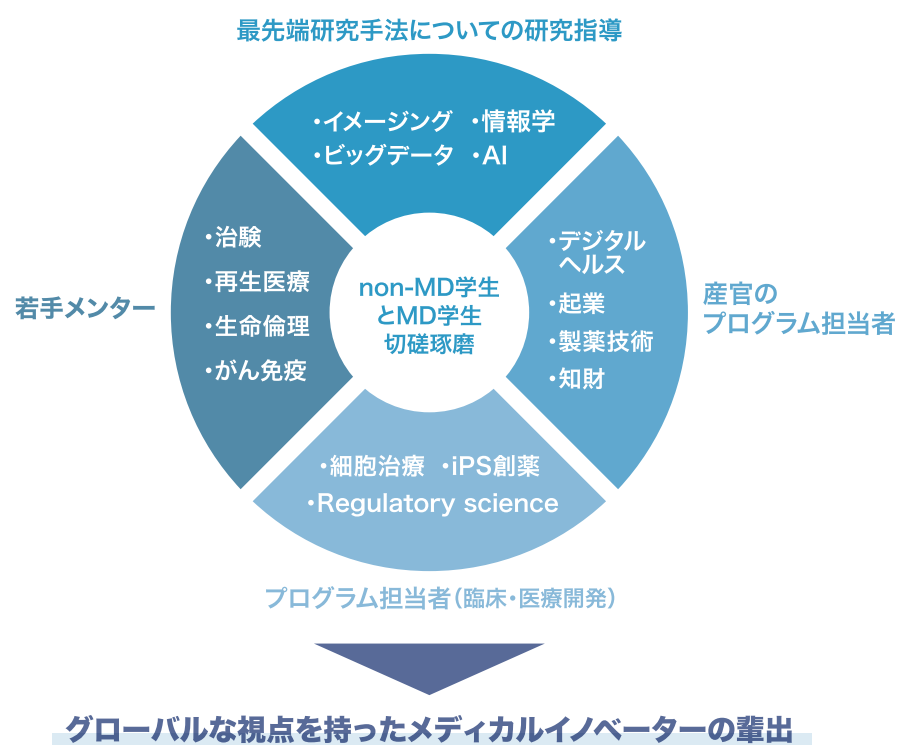
[HP] <https://www.mip.med.kyoto-u.ac.jp/>



メディカルイノベーション大学院プログラムとは

我が国の医療・ヘルスケア領域におけるイノベーションを加速し世界へ発信・展開するために、最先端の研究開発と社会実装を担う卓越人材の育成システムを戦略的に構築することが課題と捉え、日本を代表する数々の研究成果を上げてきた京都大学の医学・薬学・保健学分野の研究者が協力し、MD及びnon-MD(non-Medical Doctor)の学生を対象に、グローバルな視点を持ったメディカルイノベーターを輩出することを目的とした教育研究プログラムです。

医学研究科、薬学研究科、iPS細胞研究所の医薬学域3部局と世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)「ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)」が連携し、ノーベル賞をはじめ国際的に高い評価を受ける研究者を輩出する世界トップレベルの研究を推進してきた京都大学の強みを生かしたカリキュラムを用意しています。



プログラムの位置づけ

本プログラムは、5年一貫制の博士人材育成プログラムです。プログラム履修生は自らが所属する専攻の履修・修了とともに、本プログラム修了要件を満たすことにより「メディカルイノベーション大学院プログラム修了」が学位記に付記されます。

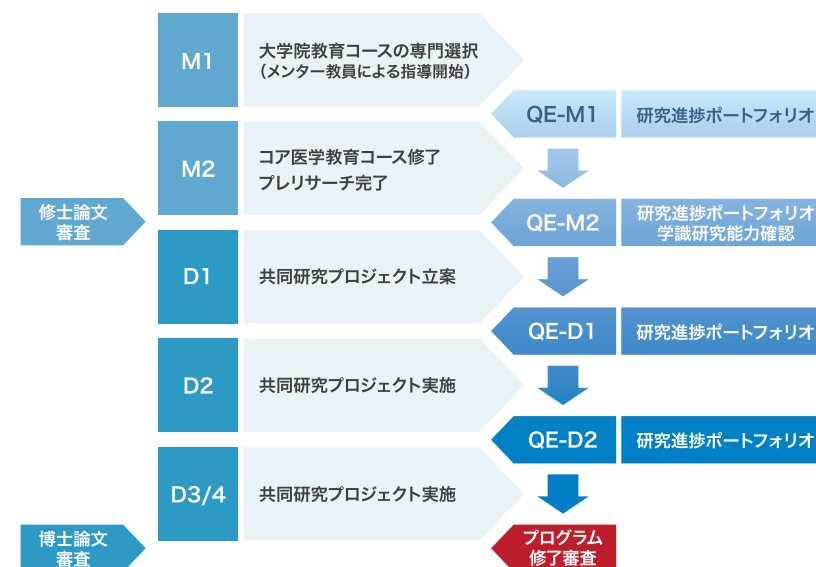
実施研究科・入学時期

実施研究科	専攻
医学研究科	医学専攻 医学科学専攻 社会健康医学系専攻 人間健康科学系専攻
薬学研究科	薬科学専攻 薬学専攻 医薬創成情報科学専攻

原則として4月に募集を開始し、6月前後に履修開始となります。プログラム履修にあたって入学料、授業料は必要ありません。

評価システム

複数の指導教員が、多段階のQE(修士課程で計2回、博士(後期)課程で計2回)を実施します。研究内容とともに「俯瞰力(視点を変える力、思考の先回り)」、「独創力(既存の研究領域や手法に捉われず、新領域開拓やアプローチを創成する独自の思考・研究能力)」、「コミュニケーション能力」の観点から評価を行います。研究結果のみにとらわれず、研究経過を把握した上で、プログラム履修生に助言、フィードバックを行うために、研究進捗ポートフォリオを作成してもらいます。



カリキュラム

一般のコア科目とは異なり、プログラム履修生は、自らのバックグラウンドや研究目的に応じて、取得すべき「コア医学教育コース」、「大学院教育コース」をカスタマイズできます(但し、プログラムの修了要件である研究科の定める科目履修及び単位数を満たす必要があります)。

「コア医学教育コース」は、社会人学生、留学生を含むnon-MD学生を想定しており、「解剖学」、「生理学」、「病理学」等から構成されています。

専門領域別の「大学院教育コース」は、知のプロフェッショナルにふさわしい実践的な研究能力、俯瞰力、独創力、コミュニケーション能力を養成することを目的とし、所属分野の壁を取り払い、「腫瘍学コース」「免疫・アレルギー・感染コース」「神経科学コース」「再生医療・臓器再建医学コース」「生活習慣病・老化・代謝医学コース」等の約10前後のコースにて、英語によるコロキウム形式の講義・演習を実施します。

		M1	M2	D1	D2	D3/D4	学位審査 & プログラム 修了審査
リサーチワーク		修士論文研究		博士論文研究			
		プレリサーチ		(異分野)共同研究プロジェクト			
コースワーク	コア履修科目群	大学院教育コース(「基礎-応用横断型」コロキウム)					
		・専門領域別に約10コースを設定。 ・のべ200名以上の若手教員を配置(複数メンター制の基盤)					
	コア医学教育コース						
	解剖学・生理学・病理学等の 医学に関する知識・考え方を体系的に学ぶ						
	キャリアパス支援・ 社会実装スキル アップ科目群	(医学領域)フロンティア型人材育成特別講義		企業研究者等の学外講師 による実践的講義 学生・大学研究者との研究面、 人材面の交流マッチングを促進			
創業医学特別講義							
医療工学特別講義							
HiDEP起業家育成プログラム							
キャリア展開への活動		海外・国内インターンシップ					
国際頭脳循環 産官との人材交流		産学マッチング学術交流会・企業見学会					
		令和近衛塾					